

令和５年度における経営協議会学外委員からの意見への取組状況

学外委員からの意見	取組状況 (意見についての検討状況、意見を基に具体的に実施した取組事例)
第130回経営協議会（R5. 6. 15）	
(1) 【報告】 令和４年度診療稼働額等実績報告	
① 附属病院は、地域への医療貢献と同時に、そこから収益を得られるところでもあるので、そこで働く医師に頑張ってもらえるような環境づくりが大事である。	附属病院における将来構想計画を現在策定中であり、大学病院としての在り方・目指す姿に基づく全体計画の中に医師の採用計画を盛り込むことを予定している。診療体制の充実とともにタスク・シフト／シェアを進めるなど働き方改革による環境改善に取り組むことで医師をはじめとする職員のモチベーション向上を図る。
(2) 【報告】 金沢大学発ベンチャーキャピタル（株式会社ビジョンインキュベイト）の認定取得	
① 1点気をつけなければいけない点として、金沢大学が全て出資しているので、リスクをはっきりと明示しておく必要があるということである。	金沢大学の出資リスクについては、経営協議会での説明（第126回及び127回）のほか、第237回教育研究評議会（令和4年12月16日開催）及び第240回教育研究評議会（令和5年2月17日開催）において説明を行った。今後本学がとる措置として、本学と株式会社ベンチャーキャピタルが開催する定例会等において事業進捗状況を把握し、当該会社の業務運営状況や投資事業有限責任組合の運用実績の報告を受ける際に、必要に応じて、当該会社に対して株主として事業計画の見直し等の提言を行うこととしており、当該会社の事業進捗状況等については、引き続き経営協議会及び教育研究評議会において報告する。
第131回経営協議会（R5. 7. 20）	
(1) 【協議】 第４期中期目標期間における意欲的な評価指標の再申請	
① 面積を評価指標にすることについて、面積そのものではなくプロダクティビティの観点からの指標がよりわかりやすい。	意見を受け検討した結果、当該中期計画は施設マネジメントの項目であるため、その目標として、本学の研究力強化を念頭に置いた研究スペース確保を指標とすることとした。意見のあったプロダクティビティの観点については、研究の成果に計画においてカバーする。
(2) 【報告】 金沢大学基金の令和４年度実績・令和５年度計画	
① 父母の会などを活用した寄附の呼びかけを考えるとよい。また、教員が寄附をすることも重要である。	学生の父母等に対しては、入学宣誓式、父母等との懇談会において募金ブースを設けるなど、広く寄附を募るとともに、広報誌「Acanthus」とともに基金の案内を郵送するなど、寄附の呼びかけを進めている。父母の会については、他大学の状況も調査し、今後検討を進める。教員に対しては、教育研究評議会等で、基金担当理事から寄附の呼びかけを行うなど、学内への周知にも努める。